

Kok-tsè Tâi-gí Jīn-tsing



國際台灣語檢定

A1 & A2 レベル

日本会場用

2016 年秋 受験要項



No.1, University Road, Tainan City 70101, Taiwan

Tel : +886-6-2387539

Fax : +886-6-2755190

<http://ctl.twl.ncku.edu.tw/itpt>

2016 年 8 月

目次

1.	2016 年秋国際台湾語検定日程.....	3
2.	国際台湾語検定の概要.....	4
3.	出願資格.....	5
4.	試験科目、方式および受験料.....	5
5.	出願方法、期限と定員.....	5
6.	インターネット出願の概要.....	5
7.	会場.....	6
8.	試験時間割.....	7
9.	成績表と証書.....	7
10.	総得点と台湾語能力等級の対応表.....	8
11.	国際台湾語検定 受験注意事項（20151001 改定日本会場向け）.....	9
	付録 1：国際台湾語能力証書申請票（日本）.....	11
	付録 2：郵送出願の方法.....	12
	付録 3：2016 年秋国際台湾語検定日本東京会場郵送用願書.....	13

説明：

1. この要項は日本会場での受験に適用される。台湾国内の試験会場での受験者は台湾国内試験会場用の受験要項を参照すること。
2. 日時や規程等の変更の権利は国立成功大学台湾語文測驗中心にあり、新しい告知に従うものとする。本中心のウェブサイトで最新の告知を随時確認すること。

1. 2016 年秋国際台湾語検定日程

	主旨	日程	備考
1	出願期間	インターネット出願： 9月19日午前10:00～ 10月18日午後16:00まで	出願はインターネットまたは郵送の2方式で受け付ける。 試験の受験定員は海外会場の受け入れ能力に従う。定員に達した場合は、ウェブサイトで告知する。
2	インターネットで受験票をダウンロードする	11月16日 (水曜日)	受験者がインターネットでダウンロードして印刷する。本中心から受験票を郵送することはしない。
3	試験日	11月26日 (土曜日)	国際台湾語検定試験を実施する。
4	結果発表& 成績問い合わせ	2017年 1月20日(金曜日)	1.インターネットで試験結果の問い合わせ受付を始める。 2.成績証明を発送する。 3.追加の成績証明および国際台湾語能力認定証書の申請を受け付ける。
		2017年 2月15日(水曜日)	試験結果についての問い合わせ、インターネットでの成績問い合わせ期限。

2. 国際台湾語検定の概要

「国際台湾語検定」(国際台語認証、iTPT)は、台湾の国立成功大学台湾語文測驗中心が開発した「全民台湾語検定」(全民台語認証)にもとづいている。iTPTは16歳以上の成人が台湾語の読解および聴解の能力を測定するのに適している。

全民台湾語検定の開発は、当初は台湾教育部によって成功大学に委託された事業であった。その後、成功大学台湾語文測驗中心が開発を引き継いでいる。全民台湾語検定は、2010年から実施された。その主な対象は台湾国内の台湾語教員および学生である。目標基準準拠テスト(criterion-referenced test)方式を採用し、測定項目は聞く、話す、読む、書くの四技能にわたっている。総合得点によって、ヨーロッパ言語共通参照枠(Common European Framework of Reference for Languages; CEFR)による6段階評価を行う。

国際台湾語検定はこの全民台湾語検定の簡略版で、2011年に米国、日本およびベトナムで実施されたのがはじめである。今のところ、測定項目は台湾語の読む、聞くの二技能で、レベル評価はCEFRのA1、A2である。受験者が利用しやすいよう、試験実施を一次、二次に分けず、級別に分けることもしない。一度のテストで、総合得点によって台湾語能力の等級(A1、A2)が認定される。

国立成功大学台湾語文測驗中心は、台湾国内で初めての台湾語能力検定を専門とする常設機構である。試験開発にあたっているのは全国各大学、学術機構、台湾語・台湾文学団体の精鋭である。教育部から試験問題の作成の委託を受け、また地方自治体の委託で台湾語検定を実施するなど、専門性と権威が各界から認められ、同中心が発行する台湾語等級認定証書は多くの国内外の機構から認められるものとなっている。

3. 出願資格

満 16 歳に達していれば、国籍、人種、民族、性別、身分、職業を問わず出願できる。

4. 試験科目、方式および受験料

試験科目	試験方式	受験料	
1. 聴解試験 2. 読解試験	選択問題 (マークシート)	(1)Paypal email: uibuntw@gmail.com (2)みずほ銀行 日野駅前支店(347) 普通 1733612 (3)ゆうちょ銀行 記号 10020 番号 2865421 (4)普通為替	日本円 5,100 円 (送金手数料は 出願者が負担)

受験料は、Paypal（名義：蔣為文）、銀行口座宛て、又は普通為替（受取人：多田恵）で御送金ください。申込締切後に申込者の名簿とつきあわせて確認しますので、送金者の名前と受験者の名前が異なる場合は、念のため、その旨お知らせください。

5. 出願方法、期限と定員

基本的にはインターネットで出願を受け付ける。日本会場では特別に郵送出願も認める。今回の試験実施において受験定員は海外会場の受け入れ能力に従う。定員に達した場合は、ウェブサイトで告知する。

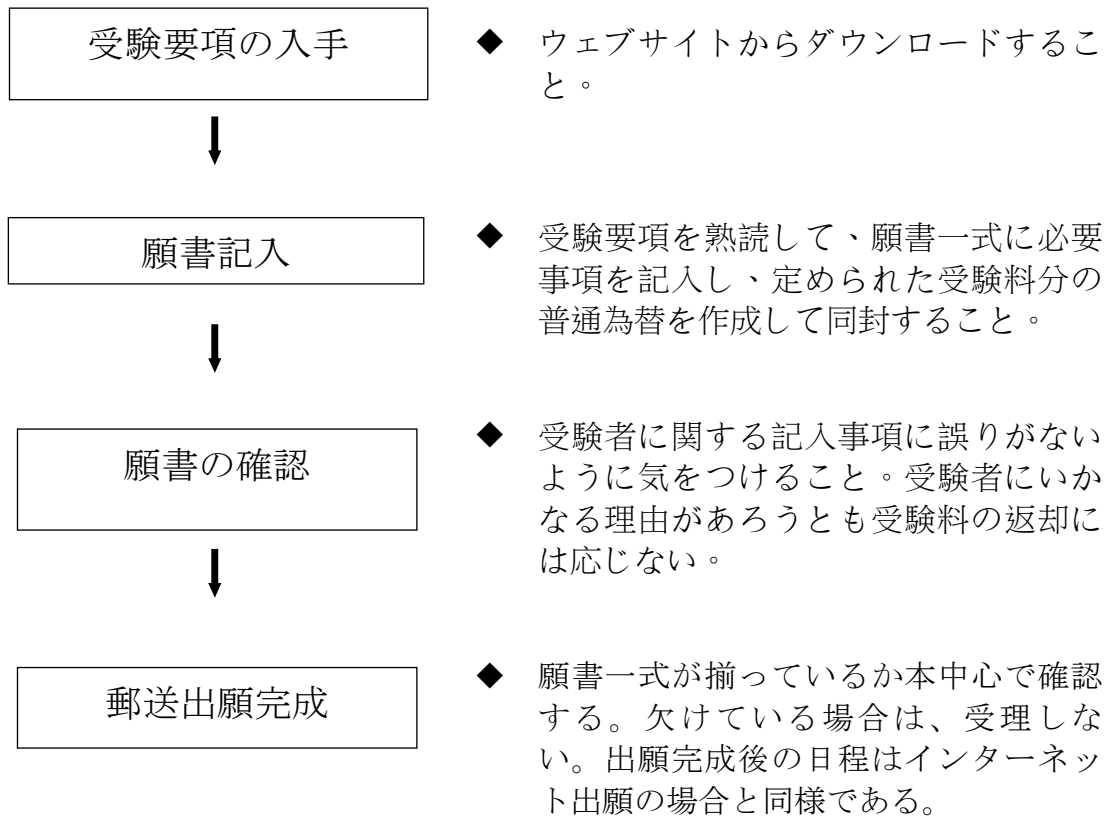
海外会場は出願者が 5 名以上の場合に予定通り試験を実施する。

出願方式		受験料納付方法	出願期間
1	インターネット	(1)Paypal email: uibuntw@gmail.com (2)みずほ銀行 日野駅前支店(347) 普通 1733612 (3)ゆうちょ銀行 記号 10020 番号 2865421 (4)普通為替	9 月 19 日午前 10:00～ 10 月 18 日午後 16:00
2	郵送		

6. インターネット出願の概要

出願は各自インターネットに接続して必要なデータを登録し、定められた期間内に受験料の支払いを済ませて完了となる。2016 年秋国際台湾語検定出願サイト <http://ctlit.twl.ncku.edu.tw/itpt>

身体障がい等、受験にあたり特別な措置が必要となる可能性がある場合、出願前に対応の可否を日本会場責任者に確認されたい。郵送出願の概要受付期間：2016 年 9 月 19 日～10 月 18 日（消印有効）。



7. 会場

日本会場は東京都内にある東京語文学院日本語センターで実施する（東京都豊島区池袋 3-26-16、池袋駅西口より徒歩 10 分、C1 出口より徒歩 5 分）。試験実施教室は受験票の記載に従う。あらためて本中心ウェブサイトで告知する。受験票は各自ウェブサイトからダウンロードのうえ、プリントアウトして持参すること。受験票の送付は行わない。

会場への交通等については、各自会場校のウェブサイト等で調べ、当日は早めに試験実施教室に到着して座席表を確認し、開場までは教室の外で待機すること。

国際台湾語検定【日本東京会場】郵送出願先

会場責任者：多田 恵

電話：080-5489-9828 FAX: 020-4666-3085

宛先：「〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758 桜美林大学 多田 恵」

e-mail：tada@obirin.ac.jp

8. 試験時間割

時限	試験科目／出題タイプ／問題数	配点	試験時間	解答用紙
9 : 10～9 : 50	聴解試験 (a)聞き取って絵を選ぶ -8 問 (b)絵を見て選択肢から選ぶ-6 問 (c)対話の理解-6 問	50	約 20 分	マークシート
	読解試験 (a)絵を見て選択肢から選ぶ-8 問 (b)補充-8 問 (c)短文理解-4 問	50	20 分	マークシート

- (1) 【国際台湾語検定—A1&A2 レベル】 総得点は 100 点満点。
- (2) 読解の試験時間は確定しているが、聴解問題は実際の録音時間に従う。
- (3) 読解および聴解試験は四択式である。
- (4) 試験実施日および時間割に変更がある場合は、ウェブサイトでの告知に従う。

9. 成績表と証書

- (1) 国際台湾語検定の全科目を受験し、規定を満たした場合、成績の如何に関わらず、成績表を送付する。受験者は定められた期間内にウェブサイトにて成績を確認することが出来る。試験記録は試験実施日から 2 年間、本中心で保管する。
- (2) 国際台湾語検定の全科目を受験し、成績が本検定等級認定の基準に達している場合、国際版台湾語能力証明書の発行を申請することが出来る。
- (3) 成績表あるいは証明書の追加発行の申請用紙は本中心のウェブサイトから入手すること。

10. 総得点と台湾語能力等級の対応表

2016 年秋国際台湾語検定は同一の試験により等級認定を行う。試験科目は聴解および読解の2科目であり、レベル認定はCEFRのA1、A2の2段階で行う。

等級	総得点*	説明
A1 Breakthrough 初学者	$60 \leq \text{総得点} \leq 79$	よく使われる日常用語と語彙を理解し、それを用いて具体的な要求を満たすことができる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いかわか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし相手がゆっくり、はっきりと話し、助け舟を出してくれるなら、簡単なやりとりをすることができる。
A2 Waystage 初級者	$80 \leq \text{総得点} \leq 100$	直接関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる（たとえば、ごく基本的な個人的情報や家族の情報、買い物、近所の地理環境、仕事など）。簡単な日常的な作業においてコミュニケーションが取れ、身近で日常的な事柄について、簡単に直接的な情報交換を行うことができる。自分の背景、身の回りの状況および直接的な必要性のある事柄について、簡単な言葉で説明できる。

*試験科目：(1)「聴解試験」、(2)「読解試験」。

*聴解および読解のうち、一科目でも未受験ないし無得点があってはならない。

11. 国際台湾語検定 受験注意事項 (20151001 改定日本会場向け)

一般

1. 受験者は受験票、国民身分証(または有効な運転免許証、パスポート、外国人登録証)原本、2B の鉛筆および黒か青のボールペン、消しゴムを持参して受験すること。受験票を紛失した者は、身分証明書類を持参の上、試験監督者の指示に従って再発行手続きをしてからでなければ、受験を認めない。
2. 受験生は受験票、身分証明書類、鉛筆、消しゴムおよび補聴器などの医療器具(出願時に申し出て、許可を得た上で使用することができる)以外の、受験に必要でない物品を取り出して使用してはならず、教室の床に置かなければならない。なお、受験に際して貴重品は携帯しないこと。試験事務室は保管の責を負わない。
3. 受験に必要な物品とは、受験要項、書籍、紙、定規、筆箱、鞆、および通信、撮影、録音、記録、音が出るなどの機能を持ち、会場の平穏を妨害したり、試験の公平性を損なう各種物品・機材(携帯電話、ポケットベル、ラジオ、レコーダー、MP3 プレーヤー、目覚まし時計、アラームが鳴る腕時計、電子辞書など)を含む。これらの電子装置を携行している場合は、アラーム設定を解除して電源を切ること。携帯電話はバッテリーを取り外さなければならない。試験実施中にこれらの装置の電源が入っていたことが判明し、試験監督者の警告に従わない場合、退場させ、当該科目を零点とする。

試験中(試験監督者が試験の開始を宣言してから試験終了まで)の注意事項

4. 試験開始の 10 分前に予鈴が鳴った後で、受験者は教室へ入室し席順を確認することができる。入室の際に、受験票および身分証明書類の原本を提示し、受験番号で指定された座席に着席すること。着席したら受験番号と机の上に示された番号が一致しているか確認すること。正しくない席に着席していることが試験中に判明した場合、直ちに退室させ、その科目は零点とする。
5. 試験中は受験票と身分証明書類を机上の指示された場所に置いて、試験監督者が確認できるようにすること。出願時に記入した公的身分証明書の記号番号と原本の記号番号に相違がある場合、国際台湾語検定の資格を取り消す。
6. 試験開始時点以降の入室を認めない。
7. 試験中に試験問題、解答用紙を持ち出したり、そうしようとしたり、あるいは試験中に録音しようとした場合、国際台湾語検定受験資格を取り消し、また、成功大学台湾語文測驗中心の著作財産権を侵したとみなし、5 年の間、本中心が行う試験への受験を認めない。場合により法的手続きをとる。
8. 試験中、携帯電話、ポケットベル、タイムウォッチおよびその他の電子装置を操作したり、音(振動を含む)を出してはならない。違反した場合、当該科目の成績を認めない。試験監督あるいは試験担当者は、試験場の秩序を乱し、公正な試験の実施を妨げる可能性のある事情に際してはその場で必要な措置を取ることが出来る。たとえば、音が出ている物品や鞆を試験場から持ち出して調べることができる。
9. 試験中、試験場で飲食(ガムを含む)、喫煙、試験場の秩序を乱したり、他の受験者の解答に影響を与えてはならない。これに違反した場合は、まず口頭ないし書面で警告し、再度違反した場合は退場させる。退場を拒む場合、受験資格を取り消すことができる。
10. 試験中に体調が悪くなったりトイレに行きたくなった場合、退室を認める場合がある。その場合、試験時間の延長は認めない。

解答の際の注意事項

11. 解答する前に、監督者の指示に従い、解答用紙および試験問題に欠落が無い、印刷された受験番号が正確か、点検すること。万が一、誤り、汚損、印刷の不鮮明、ページの脱落などを発見した場合、解答に不利になる恐れがあるので、直ちに挙手をして監督者に申し出ること。
12. 問題冊子には、記号であれメモであれ、いかなる書き込みもしてはならない。またそれらに直接解答を記入してはならない。試験時間中には配布される草稿用紙にメモを取ることができるが、試験終了時に監督者が回収し、受験生は試験教室から持ち出してはならない。違反した場合は、得点を認めない。
13. 試験中は、解答用紙の所定の場所に解答を記入する、あるいは所定の場所にメモを取ることができるが、ほかの場所に試験にかかわるいかなる文字や符号等を書きつけてはならない。たとえば、受験票、文具、机、身体およびその他の物品である。違反した場合は、得点を認めない。
14. 受験者は次のことをしてはならない：周囲を見回す。他の受験生の解答を覗く。会話を交わす。メモ等を見る。他の受験生の解答を写す。他の受験者に解答を見せる。解答を口に出して言う。他の受験生に暗号で解答を知らせるなどの不正。もし制止の指示に従わない場合は、試験教室から強制的に退去させ、その科目の得点を零点とする。身代わり受験を依頼した者、および引き受けた者は3年の期間にわたり、成功大学台湾語文測驗中心が実施する試験を受験することができないほか、規定に従って処分を決定する。
15. 選択式問題はコンピューターによって採点するため、2B の黒鉛筆でマークシート解答用紙の指定の欄に解答すること。それ以外は黒または青のボールペンで答案用紙に解答し、その際、修正液または修正テープを用いることができる。解答枠内に書かれていない部分については得点に算入しない。
16. 解答の文字が不鮮明であったり、書き直しの際に直すべき文字が消えずに残っていたり、解答用紙が皺になる、汚損する、あるいは問題冊子に解答を記入して解答用紙に記入していない等で採点に影響する場合があるので気をつけること。この点についての訴えは受け付けない。
17. 試験監督者が試験開始を宣言する前に、問題冊子を開いてはならない。指示に従わない場合は、その科目を零点とする。

試験終了時

18. 試験終了時は、試験監督者の指示によって直ちに解答を止め、座席で問題冊子、解答用紙の回収、点検が終わるのを待つこと。試験監督者が退室を許可するまで、筆記用具を手にして記号をつけたり、試験問題をメモしたり、勝手に席を離れてはならない。
19. 問題冊子、解答用紙は試験終了時に試験監督者が回収・点検する。受験者はこれを試験実施教室の外に持ち出してはならない。違反した者は、国際台湾語検定の資格を取り消し、成功大学台湾語文測驗中心の著作財産権を侵害したと見なされる。5年にわたり、本中心の試験への受験を認めないほか、場合によっては法的措置をとる。
20. 受験者は問題冊子・解答用紙等を提出して退室したあと、試験実施教室付近に留まったり、声を挙げたり、あるいは解答を読み上げるなどして実施教室内の受験者に解答を教えるてはならない。制止に従わない場合は、国際台湾語検定試験の資格を取り消す。

これらの注意事項に挙げられていないことであっても、不正行為や不規則行為あるいは試験の公平性、他の受験者の権利に影響を及ぼすような行為があった場合、試験監督者が記録し、あらためて成功大学台湾語文測驗中心が事情を勘案して処分を決めることがある。

付録 1：国際台湾語能力証書申請票（日本）

申請日：西暦 年 月 日

受験日	西暦 年 月 日	受験地	日本		
申請者氏名 (楷書)		身分証明書 番号			
受験証番号		総合得点		級別	
申請部数 手数料	___部×¥2,000 円 = ¥___ 円 (日本円)	e-mail			
郵送先住所	□□□-□□□□				
電話(昼)		携帯電話			
注意事項	(1) 国際台湾語能力証書発行申請についての説明： ① 国立成功大学台湾語文測驗中心実施の国際台湾語検定に参加し成績が級別認定の基準に達した者は、本中心のウェブサイトから「国際台湾語能力証書申請票」をダウンロードし、規定にしたがって申請手続きを行うことが出来る。 ② 受験者は、受験日より2年間、随時、本中心に対し台湾語能力証書を申請することができるが、この期限を過ぎた場合は受理しない。証書発行の手数料は1部あたり日本円¥2,000円とし、申請票が届いてから15営業日で発送する。 ③ 受験科目が欠けている、もしくは得点が零点であることがなく、かつ総合得点が60点(含む)以上に達している場合に、台湾語能力級別認定基準により級別を認定することが出来る。				
	(2) 申請書類 ① 国際台湾語能力証書申請票（各欄に記入済みのこと）。 ② 手数料支払い済みであることを示す証憑。				
(3) 申請の流れ ① 申請票に確実に記入すること。申請者が条件に合致しないことが判明した場合、証書の発行及び手数料の払い戻しはできません。証書申請が受理された場合、申請者は如何なる理由であれ、申請者の変更、もしくは、申請をキャンセルし払い戻しをすることはできません。 ② 手数料支払方法： (1) Paypal email: uibuntw@gmail.com； (2) ゆうちょ銀行：記号 10030 番号 64359941（〇〇八店、普通預金 6435994） ③ 申請票に記入し、誤りがないか確認してから、手数料支払い証憑および記入済みの申請票を次のアドレスに電子メールで送付すること：tgpomia@gmail.com。 ④ 証書発送後、何らかの事情により郵便が本中心に返送された場合、本中心では返送を受けてから1ヵ月保管するが、この期限を過ぎた場合は破棄する。					
以下は本中心記入欄					
核発日期：	年 月 日	證書編號			
收件日期：年 月 日 <input type="checkbox"/> 申請表申請證書 _____ 份	經辦：	結果： <input type="checkbox"/> 寄發證書 _____ 份 寄發日期：年 月 日 備註：	核對一		
			核對二		
			主管		

付録 2：郵送出願の方法

出来るだけインターネットによる出願を利用されたい。郵送の場合は、次の要領に従って出願すること。

- (1) 郵送出願の受付は 2016 年 9 月 19 日～10 月 18 日まで。消印有効。
- (2) 以下の願書一式を順番に重ね、左上をホッチキスで留め、角形 2 号の封筒に入れて郵送すること。
- (3) 封筒には一人分の願書だけ入れ、「速達」の「一般書留」扱いで郵送すること。
- (4) 封筒の表に「国際台湾語検定出願」と明記すること。
- (5) 宛先は「〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758 桜美林大学 多田 恵」である。試験会場ではないので注意すること。
- (6) 受験票のダウンロードなどの手続きは電子メールアドレスおよび公的身分証明書の番号によって行う。出願時に使用したメールアドレスと証明書番号を控えておくこと。
- (7) もし「一般書留」扱いにせずに、郵便が不達になる、あるいは願書に漏れがあるなどして返却され出願が受け付けられなかった場合の責任は出願者が負うものとする。

出願書類
<input type="checkbox"/> 願書
<input type="checkbox"/> 受験者属性調査票
<input type="checkbox"/> 公的身分証明書のコピー（両面）
<input type="checkbox"/> 日本円 5,100 円分の普通為替（受取人は「多田 恵」と指定）

付録 3 : 2016 年秋国際台湾語検定日本東京会場郵送用願書

記入日: 西暦 年 月 日

受験者氏名 (楷書) (必須) ----- 旅券のローマ字表記	-----	郵送出願添付書類	
		<input type="checkbox"/> 願書 <input type="checkbox"/> 受験者属性調査票 <input type="checkbox"/> 公的身分証明書のコピー (願書に貼付のこと) <input type="checkbox"/> 日本円 5,100 円分の普通為替	
署名 (必須)		<input type="checkbox"/> 台湾身分証番号 <input type="checkbox"/> 運転免許証番号 <input type="checkbox"/> 旅券番号 <input type="checkbox"/> 外国人登録番号	
試験問題 (ローマ字表記法) の種類	<input type="checkbox"/> POJ 教会ローマ字 <input type="checkbox"/> TL 教育部公告の台羅		
出生年月日 (必須)	西暦 年 月 日	性別	<input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> 男
勤務先 / 在籍学校 (正式名称)		職位	
電話番号		携帯電話番号	
E-mail (必須)			
住所 (必須) ※成績表の送付先			
身分証明書コピー (表) 右の線にあわせて貼付すること パスポートのコピーは上の枠にあわせて 貼付すること		身分証明書コピー (裏) 左の線にあわせて貼付すること パスポートのコピーは上の枠にあわせて 貼付すること	
-----会場担当者記入欄-----			
確認		備考	
		支払い証明番号: □□□□□□	
-----台湾語文測驗中心使用欄-----			
報名審核		備註	

日本会場-郵送出願受験者属性調査票

※各欄に詳しく記入・選択してください。

国籍	<input type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 台湾 <input type="checkbox"/> その他_____
学歴	<input type="checkbox"/> 博士 <input type="checkbox"/> 修士 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 短大・高専 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 中学 <input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> その他_____
職業	<input type="checkbox"/> 教師/研究者 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 経営者 <input type="checkbox"/> 教育機構 <input type="checkbox"/> サービス <input type="checkbox"/> 主婦/主夫 <input type="checkbox"/> 医療福祉 <input type="checkbox"/> 観光 <input type="checkbox"/> 作業員 <input type="checkbox"/> その他_____
台湾語使用	<input type="checkbox"/> 常に台湾語 <input type="checkbox"/> よく使う <input type="checkbox"/> 二分の一 <input type="checkbox"/> ときどき <input type="checkbox"/> 全く使わない
国際台湾語検定 出願の動機 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 台湾で仕事をする <input type="checkbox"/> 就職に有利 <input type="checkbox"/> 台湾系企業に勤務 <input type="checkbox"/> 台湾人と結婚する <input type="checkbox"/> 台湾へ移民する <input type="checkbox"/> 台湾旅行 <input type="checkbox"/> 台湾研究 <input type="checkbox"/> その他_____
国際台湾語検定 への提案 (75字以内)	